

関連ワークショップ

木炭で遊ぶ

手づくり木炭で描こう

日時

2018年3月3日(土)

14:00-15:30

森本 玄 (京都造形芸術大学教授)



鉄と炭素のものがたり

天然黒ぐる

Natural Black

A Tale of Iron and Carbon

関連ワークショップ / 関連イベント

関連イベント

黒ぐる講座

③

黒茶碗の茶会 & 講演

やきもの

つくり手から見た、茶と黒の勘どころ

日時

2018年4月1日(日)

① 13:00-14:00

② 14:00-15:00

③ 15:00-16:00

加藤亮太郎 (陶芸家)

①

対談

墨

違いのわかる、墨の見方

日時

2018年3月10日(土)

14:00-15:30

松井孝成 (墨運堂顧問)

×

青木芳昭 (京都造形芸術大学教授)

④

講演

黒の誘惑

二輪というプロダクトデザインを通した「黒の魅力」

日時

2018年4月7日(土)

14:00-15:30

三輪幸治

(株式会社 本田技術研究所 二輪 R&D センター
アドバンステザイン開発室室長 兼 クリエイティブダイレクター
上席研究員)

②

講演

黒の漆

基礎からわかる漆の見どころ

日時

2018年3月17日(土)

14:00-15:30

堤 卓也 (堤浅吉漆店専務取締役)

関連ワークショップ

「木炭で遊ぶ 手づくり木炭で描こう」

森本 玄 (京都造形芸術大学教授)

- 日時: 2018年3月3日(土) 14:00-15:30
- 会場: INAX ライブミュージアム内「土・どろんこ館」テラス
- 対象: 小学校低学年、親子で参加
- 定員: 8組 16名
- 参加費: 親子2人で500円(「土・どろんこ館」内の観覧料含む)
- 持ち物: エプロン、タオル(汚れてもよい服装でご参加ください)

絵を描く画材として使われる「木炭」を手づくりしたり、いろいろな種類の自然の枝からつくった「木炭」で、五感を使って遊びながら、木炭の柔らかさ、黒さ、描き心地の面白さを発見していきます。

森本 玄: 1964年三重県生まれ。1995年東京藝術大学大学院博士後期課程修了(美術)。身近な人や事物を木炭や鉛筆などで描きながら、こども芸術大学、尖石縄文考古館(長野)で土からクレヨンをつくるワークショップなどを展開している。

申し込み方法:

メールにてお申し込みください。(先着順)

email: clayworks_event.ilm@lixil.com (予約専用)

メール件名に「木炭で遊ぶ」と明記の上、参加者の氏名、年齢、当日連絡がつく電話番号をご記入下さい。

関連イベント

黒ぐる講座

本展でご紹介している、墨、漆、やきもの、二輪の世界の第一線で活躍するつくり手の方々をお招きし、素材の基礎知識とそれらを生活で楽しむための、黒の見方、選び方、使い方のツボをお聞きます。

① 対談

「墨 違いのわかる、墨の見方」

松井孝成 (墨運堂顧問) × 青木芳昭 (京都造形芸術大学教授)

- 日時: 2018年3月10日(土) 14:00-15:30
- 会場: INAX ライブミュージアム「世界のタイル博物館」講義室
- 定員: 30名(要申込み・先着順)
- 参加費: 共通入館料で聴講可

書に使う墨、水墨画に使う墨のみならず、日本人は墨をいろいろな用途によって使い分けてきました。日本人が忘れてしまった墨についての基礎知識、書や水墨画を見ていくために役立つ、墨のイロハを墨と筆を実際に使いながら知ることができる機会です。

1. インクと墨の違い / 2. 墨(固形墨)とはどのようなものか / 3. 墨の種類。油煙墨と松煙墨の違い、色の違いはどうして起こるのか / 4. 原料(すずしにかわ)・煤と膠の量による違い / 5. 紙による発色の違い / 6. 水質と墨の関係 / 7. 硯と墨の相性、色の違い

松井孝成: 1947年、奈良県生まれ。墨運堂の顧問として伝統的な製法を科学的に研究・実証しながら、固形墨と液体墨の製造販売を行う。近代化により煤、膠などの素材の入手が不可能になると、独自に研究・製造を行いながら墨づくりを守っている。

青木芳昭: 1953年、茨城県生まれ。1976年パリ留学、ル・サロン名誉受賞。1999年アカデミア・プラトニカ設立・代表。2015年21世紀鷹峰フォーラム研究協力「絶滅危惧の素材と道具」で害獣の鹿の皮から和膠を復刻、毛から筆・刷毛の道筋を築く。京都技法材料研究会会長。

② 講演

「黒の漆 基礎からわかる漆の見どころ」

堤 卓也 (堤浅吉漆店専務取締役)

- 日時: 2018年3月17日(土) 14:00-15:30
- 会場: INAX ライブミュージアム「世界のタイル博物館」講義室
- 定員: 40名(要申込み・先着順)
- 参加費: 共通入館料で聴講可

漆は、器のみならず、箱、家具、道具、建築に至るまであらゆるものの塗料、接着材として使われてきました。主要な作家の器のためのものから神社仏閣など文化財修復に使われるものまで、漆をつくる視点から、その見どころを解説していただきます。

1. 漆の原料、漆の木の話 / 2. 黒い漆、木目が見える漆、赤い漆 / 3. 器に使う漆、建築に使う漆、その違い / 4. 漆の特徴、特性と弱点。漆器を長く使うために

堤卓也: 1978年、京都府生まれ。2004年、北海道大学農学部卒業後、堤浅吉漆店四代目として家業に従事。天然漆や漆工材料を厳選し、伝統的な技術を守りつつ、新設備の導入や膨大なデータの蓄積に裏付けられた製造・販売を行っている。

③ 黒茶碗の茶会&講演

「やきもの つくり手から見た、茶と黒の勘どころ」

加藤亮太郎 (陶芸家)

- 日時: 2018年4月1日(日)
- ① 13:00-14:00 / ② 14:00-15:00 / ③ 15:00-16:00
- 茶会会場: INAX ライブミュージアム「土・どろんこ館」
- 定員: 各回10名(要申込み・先着順)
- 参加費: 1000円(「土・どろんこ館」内の観覧料含む)

美濃(岐阜県)では桃山、江戸時代初期に、茶に使うための黒い碗が数多くつくられました。美濃の地で黒茶碗を日々つくる陶芸家の立場と、茶人としての視点から解説いただきます。

1. 黒茶碗をつくる、気をつけていること、大変なこと / 2. 黒茶碗の見方、桃山・江戸の茶碗から読み解く / 3. 茶を飲むための器としての黒茶碗

加藤亮太郎: 1974年、岐阜県生まれ。京都市立芸術大学大学院陶磁器専攻を修了のち、2000年より家業の幸兵衛窯にてデザイン部門を手がける。2015年幸兵衛窯八代目を継承。個人作家としては鉄釉、志野、織部など、伝統技法を受け継ぐ中にも、現代を意識した趣向性のある作品を制作・発表している。

④ 講演

「黒の誘惑 二輪というプロダクトデザインを通じた「黒の魅力」

三輪幸治 (株式会社 本田技術研究所 二輪 R & D センター アドバンスデザイン開発室室長 兼 クリエイティブダイレクター 上席研究員)

- 日時: 2018年4月7日(土) 14:00-15:30
- 会場: INAX ライブミュージアム「世界のタイル博物館」講義室
- 定員: 40名(要申込み・先着順)
- 参加費: 共通入館料で聴講可

「HONDA」二輪デザインを手掛けてきたクリエイター達が試みた「黒」の料理方法。黒は光が当たっていない「闇」を表す色。宇宙や深海など無限に広がる未知の世界の色。気持ちが落ち着く、悲しく不安になるなど人間の様々な情動を促す魔力を持つ「黒」を、クリエイティブに活かさないか? 黒に関するこれまでのユニークな研究例を上げながら、そこで得た発見を使い手に喜びを与える商品に活かす方法をお話いただき、黒が持つ「不思議な魔力」をみていきます。

三輪幸治: 1962年、福岡県生まれ。九州産業大学芸術学部 デザイン学科卒業。1985年ホンダ技術研究所入社。ATV・OFF、スクーター、大型モーターサイクルグループでデザイン開発に従事。1999年～2005年アメリカ駐在。デザイン室マネージャーを経て、現在、(株)本田技術研究所 二輪R&Dセンターアドバンスデザイン開発室室長兼 クリエイティブダイレクター 上席研究員。

「黒ぐる講座」(①～④)のイベント申し込み方法:

メールにてお申し込みください。(先着順)

email: clayworks_event.ilm@lixil.com (予約専用)

メール件名にイベント名「黒ぐる講座」と講座番号(①～④)〈例: 黒ぐる講座①〉と明記の上、参加者の氏名、参加人数、当日連絡がつく電話番号をご記入ください。

※ お申込みの前には、講座番号にお間違えがないか再度のご確認をお願いします。※ 黒ぐる講座③にお申し込みの際は、必ずご希望の時間をご記入下さい。

展覧会情報

INAX ライブミュージアム企画展「天然黒ぐる一鉄と炭素のものがたり」

【会期】2017年12月9日(土)～2018年4月10日(火)

【会場】INAX ライブミュージアム「土・どろんこ館」企画展示室

INAX ライブミュージアムへのアクセス

バス
→ 名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より
知多バス「知多半田駅」行き
「INAXライブミュージアム前」下車
徒歩2分

お車(乗用車・バス駐車場完備)
→ 名鉄線「常滑駅」より約6分
→ 中部国際空港より約10分
(セントレアライン「りんくうIC」降りる)
→ 知多半田道路「半田IC」より約15分
→ セントレアライン(名古屋方面から)
「常滑IC」より約7分

〒479-8586
愛知県常滑市奥栄町1-130
TEL. 0569-34-8282
FAX. 0569-34-8283
http://www1.lixil.co.jp/ilm/